

<学界消息>

◇日本環境教育学会第16回大会(京都) 記録

日時 2005年5月21日(土)～5月22日(日)

場所 京都教育大学

講演・シンポジウム等

基調講演 「次の生き方」：森孝之((株)アイトワ)

特別講演 「桜の都合と人の都合」：佐野藤右衛門
(株)植藤造園

ミニコンサート 環境音楽「水の調べ」：長谷川有
機子

シンポジウム：「環境を未来につなげる意欲を育む
環境教育」

シンポジスト：森孝之((株)アイトワ)・佐野藤右
衛門((株)植藤造園)・森江里子(京都市立白川小
学校)・前園律子(京都教育大学附属桃山中学校)
司会：土屋英男(京都教育大学)

話題提供：森江里子「環境教育を通して豊かな感
性や想像力を育てるために」・前園律子「[校庭の
緑や自然の回復]への取り組みを通じた環境学
習」

口頭発表

5月21日(土) 9:30-12:30

A会場

1A1 環境学と環境教育学について：浅野浅春(関
西外国語大学)

1A2 「持続可能な社会」創造への主体的な参加を
阻む教育観：○岩本泰(東京学芸大学連合大学
院)・小澤紀美子(東京学芸大学)

1A3 環境教育の「批判理論」研究－体験学習を考
材にして－：原子栄一郎(東京学芸大学環境教
育実践施設)

総合討論

1A4 環境教育と体験学習の関わりを整理する
(3)－自然体験型環境教育における体験学習の
視点から－：○増田直広((財)キープ協会)・津
村俊充(南山大学)

1A5 レイチェル・カーソンの環境概念：長谷川

幸子(京都教育大学大学院)

1A6 デューイの「体験学習」と現代の環境教育：
○田口敬志(甲南大学文学部研究生)・谷口文章
(甲南大学文学部)

総合討論

1A7 ホリスティックな環境教育：高原哲史(神戸
親和女子大学大学院)

1A8 根拠に基づく環境教育と物語に基づく環境
教育：尾見康博(山梨大学教育人間科学部)

1A9 環境問題をわかりやすく教えるには(2)－
大人は子どもをだまそうとしてはいいか－：
山下正和(同志社大学)

総合討論

B会場

1B1 ごみ学習に関する現状と課題：○向中野裕
子(東京学芸大学大学院)・小澤紀美子(東京学芸
大学)

1B2 お祭りでのごみ減量活動による環境教育：
大石和人((株)あさひ)・○山川肇(京都府立大
学)

1B3 割り箸をめぐる環境教育－ESDにおける環
境教育と開発の視点－：金嬌玲(東京農工大学
大学院)・○朝岡幸彦(東京農工大学)

総合討論

1B4 やまぐち自然共生ネットワーク「第1回リレ
ーミーティングinやしろ」出展－自然共生と生活
文化(冬季)「青林の間伐竹を花活けに」－：兼安
本子(宇部兼安青山荘・郷土宇部愛好会)

1B5 自然と生活をつなげるものづくり－ゴミに
しない、ゴミをつくらない教育を目指して－：
松井勲尚(岐阜県立森林文化アカデミー)

1B6 地域の歴史と自然を生かす環境教育情報づ
くり：○松山正将・菊地清文・花測健一・佐伯
吉勝(東北工業大学工学部建設システム工学科)

総合討論

1B7 都市農村交流における主体形成：佐藤義昭
(東京農工大学大学院)

1B8 野鳥を通して、環境の大切さを家庭や地域
に広める子どもたち－山間へき地校で野鳥学習
試み－：岸本清明(兵庫県加東郡都町立鴨川小

学校)

1B9 地域を活かした環境教育の実践研究：田先
崇志(兵庫県立西脇高等学校)

総合討論

5月21日(土) 9:30-12:30

C会場

1C1 福祉系大学生に対する環境教育のあり方に関
する一考察-快適な室内環境に対する意識調
査を通して-：都成祥子(神戸親和女子大学大
学院)

1C2 リナックス型環境共育プログラム開発の試
み-EfS(持続可能性に向けての教育)実践の一
形態-：○藤本雅巳(大阪国際滝井高等学校)・
井上有一(京都精華大学)・木内功(大阪府立総合
青少年野外活動センター)・関井弘之(なにわ環
境学習リーダー会)・原田智代(せいわエコ・サ
ポーターズクラブ)・松本朱美(動物教材研究所
pocket)

1C3 地球温暖化に関するING環境学習プログラ
ムの開発：野村真(東京学芸大学大学院)

総合討論

1C4 持続可能な社会づくりをめざす住環境教育
-家庭科を核とした総合的学習の可能性-：妹
尾理子(東京学芸大学非常勤講師)

1C5 環境ISOを取り入れた環境教育について：
○糸川高德・赤坂泰男・池田光司・水澤誠(栃
木県立宇都宮工業高等学校土木研究クラブ)

1C6 全国の高校における環境教育の現状(アンケ
ート調査より)：○滝口素行・三石初雄(東京学
芸大学大学院)

総合討論

1C7 模擬コンセンサス会議の実践-ESDを射程
においたカリキュラムのひな型として-：内田
隆(埼玉県立浦和第一女子高等学校)

1C8 環境紙芝居による地域啓発活動について：
○相原良孝・葛貫裕子・大島加葉子(栃木県立
宇都宮工業高等学校土木研究クラブ)

1C9 総合学習は「学力低下」の原因か-総合学習
「環境学」卒業生アンケートを通して考える-：
川北裕之(千葉県立葛南工業高等学校理科生物)

総合討論

D会場

1D1 森に棲む「ヤマネ」を通じた環境教育への取
り組み-環境教育プログラム「やまね学校」を題
材として-：○岩渕真奈美・湊秋作((財)キープ
協会)

1D2 森林体験学習が子どもたちの自然観等にお
よぼす影響：○大石康彦(森林総合研究所東北
支所)・比屋根哲(岩手大学)・寺下太郎(愛媛大
学)・井上真理子(森林総合研究所)

1D3 森林体験が児童の森林観にもたらす影響に
ついて-青森県における自然体験事業を事例と
して-：○小堀武信(放送大学)・岡島成行(大妻
女子大学)・関智子(青森大学大学院)

総合討論

1D4 森林環境教育施設の課題-岩手県森林ふれ
あい学習館を事例に-：○比屋根哲・橋口史織
(岩手大学農学部)・中村文治(岩手県盛岡地方振
興局)

1D5 柏原市高尾山創造の森を活用した森林体験
学習における地域連携の基礎的研究：○鹿角愛
(大阪教育大学大学院)・清水義雄・石川聡子(大
阪教育大学教育学部)

1D6 体系的な土壌の環境教育に関する研究 第
8報-自然観察の森における土壌の観察会の実
践-：○田村憲司(筑波大学生命環境科学研究科)
・深野基嗣(筑波大学環境科学研究科)・浅野
真希・大瀬健嗣・東照雄(筑波大学生命環境科
学研究科)

総合討論

1D7 スギ花粉症の教材化-杉と林業を教材とす
る環境教育プログラムより-：竹内和俊(長野
県松本市立並柳小学校)

1D8 森林環境教育における伝統的林業技術の活
用-ぶり縄技術を中心とした環境教育キャンプ
の事例報告-：八尾哲史(岐阜県立森林文化ア
カデミー)

1D9 長野県の森林における森林浴の心理的効
果：小山泰弘(長野県林業総合センター)・高山
範理・香川隆英・朴範鎮(森林総合研究所)

総合討論

5月21日(土) 9:30-12:30

E会場

- 1E1 教育センターが実施する教員研修の在り方について-香川県教育センターの試み-:藤枝秀樹(香川県教育センター)
- 1E2 指導者養成プログラムにおける科学的視点に関する一考察:五味愛美((財)キープ協会)
- 1E3 “参加者志向”と“実践形式”で受講後の活動につなげる人材養成講座-地球温暖化防止活動普及啓発講座への取組み-:○野町雅俊・渡辺敦((特)かながわアジェンダ推進センター)

総合討論

- 1E4 環境教育推進法に基づく人材認定等事業登録について:菊地泰博((財)ひょうご環境創造協会)
- 1E5 体験的環境学習指導者養成システムの立案と評価法-環境道場師範(実践的環境学習リーダー)養成講座のカリキュラム策定と評価-:○田中剛(静岡県環境衛生科学研究所)・西野宏治(静岡県環境衛生科学研究所)・静岡県立清水東高等学校)・宮崎悌三(静岡県環境衛生科学研究所)・静岡県健康福祉部)・梅崎靖志(ホールアース自然学校)・風と土の自然学校)・大武圭介(ホールアース自然学校)
- 1E6 国際教育協力を通して日本の環境教育教員研修を問いなおす:叶田真規子(首都大学東京大学院)

総合討論

- 1E7 地域と学校を結ぶ環境教育のカリキュラム開発:小玉敏也(埼玉県入間市立藤沢南小学校)・立教大学大学院)
- 1E8 大学キャンパス新設に伴うビオトープの導入-環境教育の実践と今後の展望-:○保坂和彦(鎌倉女子大学児童学部)・山根一晃(鎌倉女子大学短期大学部)・小田信治・渡辺泰一郎(清水建設(株)環境ソリューション本部プロジェクトプランニング部)・那須守・林豊(清水建設(株)技術研究所環境創造グループ)
- 1E9 教育的・環境的側面からみた都市域におけ

る学校ビオトープの現状と課題:谷村載美(大阪市教育センター)

総合討論

F会場

- 1F1 英国の新教科「シティズンシップ」における主題としての「環境」:水山光春(京都教育大学)・今河慶昭(京都教育大学大学院)
- 1F2 イギリスのウェールズにおける持続可能な開発のための教育:坂井宏光(九州国際大学)
- 1F3 環境教育から永続教育への政策転換過程-台湾事例研究-:萩原豪(学習院大学大学院政治学研究科)

総合討論

- 1F4 韓国の環境教育における教師の役割:元鍾彬(東京農工大学大学院)
- 1F5 タイにおける環境教育の現状と課題:櫃本真美代(東京農工大学大学院)
- 1F6 アジア太平洋地域のDESD戦略と地域教育協力の方向性-ワークショップ:持続可能な開発のための教育の10年にむけてアジア太平洋地域戦略への参加を通して-:佐藤真久(ユネスコ)・アジア文化センター(ACCU)・教育協力プログラム)・スペシャリスト)

総合討論

- 1F7 大学生を対象としたオーストラリア熱帯雨林フィールドプログラムの実践とその学生による評価:○小堀洋美(武蔵工業大学環境情報学部)・Robyn Wilson(The Center for Rain-forest Studies, SFS)・野村迅史・日野淳郎・後藤正幸(武蔵工業大学環境情報学部)
- 1F8 大学生を対象としたオーストラリア熱帯雨林フィールドプログラムにおける情報教育とその評価:○後藤正幸・野村迅史・小堀洋美(武蔵工業大学環境情報学部)
- 1F9 新たな人間関係と持続可能なライフスタイルの構築を目指した地方都市の国際交流実践:ロベル・アダム(武蔵工業大学環境情報学研究科)

総合討論

5月21日(土) 9:30-12:30

G会場

1G1 4500人の省エネ意識行動-自治体の環境家計簿事業から-:○岡靖敏・岩川恵理(グローバル環境文化研究所GEC)

1G2 エネルギー環境教育の現状と課題(その1) 教科におけるエネルギー環境教育の扱いの現状:石井恭子(お茶の水女子大学附属小学校)・○石原淳(東京都板橋区立中台小学校)・井元りえ(福岡工業大学)・佐島群巳(東京学芸大学)・鈴木真(東京都練馬区立石神井小学校)・妹尾理子(東京学芸大学)・善財利治(千葉県佐倉市立上志津中学校)・高山博之(京都教育大学)・大磯眞一(社会システム研究所)・野口芳江(埼玉県さいたま市立大宮西小学校)・間々田和彦(筑波大学附属盲学校)・山下宏文(京都教育大学)

1G3 今日もレモン電池に夢中!:○加藤進(三重県科学技術振興センター)・重藤英一(門真第二中学校)・森口勝典(みえ子供の城)

総合討論

1G4 エネルギー問題と環境教育の実践:石井克佳(筑波大学附属坂戸高等学校)

1G5 先進国と発展途上国におけるエネルギー教育(1)-日本と中国の比較-:岡本正志(京都教育大学)・○橋場隆(INSS)・玉岩(京都教育大学研究生)

1G6 先進国と発展途上国におけるエネルギー教育(2)-日本・イランの比較-:○岡本正志(京都教育大学)・ムハマド・アラニ(イラン・タバタバイ大学)

総合討論

1G7 環境配慮型ホテルにおけるエネルギー・環境教育:村上裕子・岩淵善美・笠原三紀夫・東野達(京都大学大学院)

1G8 ESDにおけるエネルギー教育の意義-学校における社会参加のあり方-:和田義昭(東京都立戸山高等学校)

1G9 エネルギー・環境教育の効果持続モデルの検討:○早瀬百合子・山末英嗣・奥村英之・石原慶一(京都大学大学院エネルギー科学研究科)

総合討論

5月22日(日) 9:00-12:00

A会場

2A1 五感体験と自然物の及ぼす教育的効果を探る-田んぼ体験で幼児が発する言葉から~八ヶ岳田んぼの学校の報告~-:○湊秋作・安達美樹・岩淵真奈美・黒田あや((財)キープ協会)・小林奈々恵((株)ピッキオ)

2A2 「キープ森のようちえん♪」の実践を検証する-ドイツの森の幼稚園の実践報告を参考にして-:○小西貴士・黒田あや((財)キープ協会)・キープ自然学校・無藤隆(白梅学園大学)・井上美智子(近畿福祉大学)

2A3 山形県最上郡金山町私立めばえ幼稚園における環境教育の取り組みについて:浅野山子(日本女子大学大学院)

総合討論

2A4 「自然とかかわる保育」で育つ力についての実証的研究(その2):○田尻由美子(精華女子短期大学)・無藤隆(白梅学園大学)・石坂孝喜(大塚保育園)・亀ヶ谷忠弘(宮前幼稚園)・鬼頭弘子(和光保育園)・佐々木淑子(人見保育所)・長町若江(小清水保育所)・山内武道(ばんけい幼稚園)・渡邊マスコ(滝川幼稚園)

2A5 環境絵本を利用した保育・幼児教育における生活重視の環境教育にかかわる基礎的研究:今村光章(岐阜大学教育学部)

2A6 幼児教育へのネイチャーゲームの導入に関する研究:○越川恵美・中村陽一・百瀬ユカリ(秋草学園短期大学)

総合討論

2A7 生活科における環境教育が児童の成長に及ぼす影響-笠井学級の元生徒の聞き取りから-:葉山恵津子(東京学芸大学大学院)・小川潔(東京学芸大学)

2A8 小学校校歌にみる自然環境-西宮市を例として-:古岡俊之(兵庫県西宮市立子育て総合センター)

2A9 雑草の地方名形成と子ども文化を再創造する植物命名学習:○木俣美樹男・野々村美穂・大澤由実(東京学芸大学環境教育実践施設・セント大学人類学部)

総合討論

5月22日(日) 9:00-12:00

B会場

2B1 小大連携による生き物学習：笹谷康之(立命館大学)・羽羽浩明(京都府)・山根山嗣(シーエスピー)・中村陽一(秋草学園短期大学)

2B2 小学校における環境ホルモンの授業実践：牧宏(名古屋市立庄内小学校)

2B3 小学校環境教育実践試論-子どもを行動の主体に育てるために-：大森享(東京都墨田区立小梅小学校/東京農工大学大学院)

総合討論

2B4 子ども参画型公園づくりを通じた環境教育事例について-ユニセフパークプロジェクト since 2001-：松本勝正・森下淳(国営明石海峡公園事務所)・山崎亮・佐々木健一郎・田中満(ユニセフパークプロジェクトファシリテータグループ)

2B5 地域における3世代共働による小学生の畑体験：○嶋谷円・栗田隆司・安田有里・胡子揚歌・木島温夫(滋賀大学教育学部)

2B6 地産地消と環境問題-小学5年における科学学習から総合的な学習の時間への発展-：吉岡学(京都府亀岡市立亀岡小学校)

総合討論

2B7 市民団体が学校現場における環境学習の担い手となるための一モデルの考察：小川宏樹(みえ環境県民運動協議会)

2B8 国連・持続可能な開発のための教育の10年における日本のボーイスカウト運動の役割-地域に根ざしたノン・フォーマル教育の展開-：○吉村敏((財)ボーイスカウト日本連盟・中央大学研究開発機構)・九里徳泰(中央大学研究開発機構)

2B9 自然体験学習における「持続可能な開発のための教育(ESD)」の展望：降旗信一((社)日本ネイチャーゲーム協会)

総合討論

C会場

2C1 わが国の中学生の環境に関する学力-TIMSS 2003の結果から-：鳩貝太郎(国立教育政策研究所)

2C2 学社融合の労力と効果-実践例「死をみつめる授業」から：○奥山英登・坂東元(北海道旭川市旭山動物園)・松下友徳・片岡裕美(旭川市立旭川第一中学校)

2C3 接続性からみた教科書の環境問題の取扱いの功罪-「公民」と「現代社会」について-：岩井省一(河合塾)

総合討論

2C4 「ミッション 大和を変えよ! CO₂を減らせ」-夏休みの生徒の主体的体験を中心とする中学生向け環境学習の実践-：○渡辺敦・山本則子((特)かながわ環境教育研究会)・増田裕亮(大和市立つきみ野中学校)

2C5 安全で効果的な環境教育の実践的研究PART IV-JST理科大好きコーディネーター支援2004年度-：○齋藤潔(桐蔭横浜大学医学部)・佐藤敬(文化研究社)・寺田輝明(ほけんのてらだ)

2C6 公害教育から始まるまちづくり実践-西淀川の公害とあおぞら財団を中心に-：関上哲(東京農工大学大学院)

総合討論

2C7 環境教育における自然災害・防災教育の意義と課題-学校教育をめぐる地域パートナーシップの再構築の観点から-：藤岡達也(上越教育大学学校教育学部)

2C8 体の環境の一般式及び中学校校舎の環境：柿本秀(福岡県久留米市立三瀧中学校)

2C9 学校施設の環境教育学習空間について：○木村美智子・増田豊文(東北文化学園大学)

総合討論

5月22日(日) 9:00-12:00

D会場

2D1 子どもの川遊びの諸パターンと発達段階-京都市内鴨川での観察を通して-：岩本廣美・山口亜珠佳(奈良教育大学)

2D2 宮古島の地下水域に生息する甲殻類相の解明と野外調査を利用した環境教育活動：藤田喜久(琉球大学大学教育センター)

2D3 標準色列法による河川水質調査と教員研修－サイエンスパートナーシッププログラム教員研修の実践事例－：橋淳治(大阪府教育センター)・三田村緒佐武(滋賀県立大学)

総合討論

2D4 水質と水の浄化を理解するためのプログラムの提案：山田一裕(岩手県立大学総合政策学部)

2D5 河川環境の保全・修復とその管理に向けての住民参加のあり方－淀川水系流域委員会の試み－：三田村緒佐武(滋賀県立大学環境科学部)

2D6 温暖化における河川管理：○熊澤峻子(日本環境教育学会)・熊澤貴子(WWFJ)

総合討論

2D7 佐鳴湖ワークショップと未来へのメッセージづくり－水郷水都全国会議浜松大会を通して－：飯尾美行(静岡県立浜松城北工業高等学校)

2D8 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)における国際普及啓発事業：○種岡裕・河内綾子・佐藤二郎((財)日本環境衛生センター酸性雨研究センター)

2D9 水文化教育の構想と実践(その4)－環境歴史学と環境教育の風土論的アプローチ－：立花禎唯(大阪府高槻市立松原小学校)

総合討論

E会場

2E1 相模川水源域を対象とした大学生の主体性重視の環境教育プログラムの実践と教育評価：○宮内杏子・上野直樹・中村雅子・小堀洋美(武蔵工業大学大学院環境情報学研究科)

2E2 「米軍基地と環境問題」をテーマに即興劇をつくる－教職をめざす学生による授業－：武田富美子(沖縄国際大学)

2E3 京都教育大学における環境教育の授業の現状と課題：○土屋英男・松本大(京都教育大学)

総合討論

2E4 KJ法を活用したフィールドワーク教育の実践：○笹瀬雅史(山形大学)・五十嵐寿早(山形大学大学院)

2E5 早稲田大学ボランティアセンターにおける環境教育の取り組み(2)－「農山村体験実習－農林業問題入門」の実践と評価－：外川隆(早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター)

2E6 里山学入門－講義の開設と、瀬田「龍谷の森」でのフィールドワーク－：○好廣眞一・土屋和三・増田啓子(龍谷大学環境サイエンスコース・経営学部、文学部、経済学部)

総合討論

2E7 地域と大学を結ぶ環境教育：清水清(大阪府茨木市環境教育ボランティア)

2E8 環境教育カリキュラムの骨組み試案：広木正紀(京都教育大学)

2E9 教育と福祉をむすびつけるための教材の提案－山樵館の貸出し民具パックの紹介－：○葛西紀行(飛騨の山樵館)・松井勲尚(岐阜県立森林文化アカデミー)

総合討論

5月22日(日) 9:00-12:00

F会場

2F1 外部との連携を活用した環境学習プログラムの開発とコーディネイトシステムへの提言：西本睦子(大津市立平野小学校・滋賀大学大学院)

2F2 環境学習の「舞台」をめざして－霞ヶ浦環境科学センターにおける展示の試み－：○若月憲夫・森誠一朗((株)乃村工芸社CCカンパニー文化環境事業本部)

2F3 個々人の文化に適し根ざした「持続可能性のための教育」をいかに実践・推進するか－東京都板橋区における市民グループの活動事例をもとに－：二ノ宮リムさち(グリフィス大学豪州環境学スクール環境教育修士課程修了)

総合討論

2F4 動物園でプロジェクトワイルド：佐渡友陽一(静岡市立日本平動物園)

2F5 動物園・水族館を利用した学校教育プログ

ラムの作成とその実践：○山中哲夫(兵庫教育大学・堺市立熊野小学校)・丸尾和代・増澤康男(兵庫教育大学)

2F6 環境教育における子ども動物園の位置付け－命のつながりを感じる場として－：高橋宏之(千葉市動物公園)

総合討論

2F7 2004年吹田市セミのぬけがら調査－身近な生き物調べを学習活動に－：高畠耕一郎(大阪府吹田市立豊津第一小学校)

2F8 学校飼育動物を通して子どもたちが学ぶもの－ヒトと動物の多様な関係を認識することの重要性－：○廣瀬由美・増澤康男(兵庫教育大学大学院)

2F9 ナス科作物の栄養生殖を使った学習指導：山根一晃(鎌倉女子大学短期大学部)

総合討論

G会場

2G1 現場体験学習報告－宮城県竹の内産業廃棄物処分場問題－：桜井良平・佐野史生・下羽友衛(東京国際大学国際関係学部)

2G2 生ゴミ堆肥の利用を軸とした学内リサイクルの構想：○石田康幸・細田英次・金沢富明・川嶋かほる(埼玉大学教育学部)・綿谷定信((株)アイル・クリーンテック)・田足井肇(埼玉大学生活協同組合)・市川世司(埼玉大学地域共同研究センター)

2G3 自治体、企業、住民の協働による生ごみの収集・堆肥化を目指すシステムの構築と課題－滋賀県水口町の事例－：○鈴木夏子・土屋英男(京都教育大学)

総合討論

2G4 グリーンツーリズムとファームイン－富良野の事例から－：高田研(岐阜県立森林文化アカデミー)

2G5 ブルーツーリズムと環境教育：○北川光雄(静岡英和学院大学)・奥田浩(静岡県漁港整備室)

2G6 エコツーリズムの光と陰3－屋久島エコツーリズムの推進のための指針及び提案等－：柳

田一郎(環境カウンセラー)

総合討論

2G7 都市農業の担い手としてのNPO：石坂孝喜(東京農工大学大学院)

2G8 食農学習をととした就業機会の創出－フリースクールをととした学校・地域の新たな連携の可能性－：野村卓(東京農工大学大学院)

2G9 むくい少年少女農学校における食農教育：菱井優介(東京学芸大学大学院・NPO法人自然文化誌研究会)

総合討論

5月22日(日) 13:00-15:00

A会場

3A1 動物を教材化した環境教育プログラムの実践(2)－生物同士のつながりや循環に関する子どもたちの認識－：松本朱実(動物教材研究所pocket)

3A2 現代社会における子どもの自然探索行動－小学校学校ビオトープを事例に－：○木村学(東京学芸大学連合大学院)・小澤紀美子(東京学芸大学)

3A3 環境に対する意識と態度・行動をアンケートから見ると－小学生から大学生まで－：○後藤芳文・関口憲二(玉川学園高等部)・佐藤那昭(玉川学園小学部)・飯塚奈央子(玉川学園幼稚部)・阿部敏雄(玉川学園CHaT Netセンター)

総合討論

3A4 環境配慮型ライフスタイルに関する研究－生活環境意識アンケート調査に基づいて－：○池田周子(九州国際大学大学院)・坂井宏光(九州国際大学)

3A5 水俣市における水俣病に関する街頭アンケート調査結果－大学の講義の延長としてのフィールドワーク－：板倉豊(京都精華大学人文学部環境社会学科)

3A6 アンケートによる鳥インフルエンザに関する情報普及状況の調査、および風説被害、野外活動への影響についての考察：○小泉伸夫(動物衛生研究所)・時田賢一・斉藤安行(我孫子市鳥の博物館)

総合討論

B会場

3B1 市民環境活動家におけるSLE (Significant Life Experiences)調査：畠山芽生(東京農工大学大学院)

3B2 一貫教育の教科における環境教育の量的把握：○阿部敏雄(玉川学園CHaT Netセンター)・葛西宏志(玉川学園小学部)・安斉秀俊(玉川学園中学部)・破合宗隆(玉川学園高等部)・飯塚奈央子(玉川学園幼稚部)

3B3 環境教育の定量的評価に向けた実践的試行：近藤祐一郎・江成敬次郎(東北工業大学)・鎌田直樹(NPO法人水環境ネット東北)・岡本山紀(仙台市立貝森小学校)・亀崎英治(仙台市立北六番丁小学校)

総合討論

3B4 企業における環境教育の取り組みについて：石神由健(神戸芸術工科大学・「地球環境と世界市民」国際協会)

3B5 企業内環境教育とEラーニングーその現状と問題点ー：九里徳泰(中央大学研究開発機構)

3B6 生涯学習における環境教育の実情と課題：山田弘司(大阪市立総合生涯学習センター)

総合討論

5月22日(H) 13:00-15:00

C会場

3C1 「環境教育」の戦略的軌跡(ストックホルム会議から30年の検証)：福島古(環境戦略解析機構)

3C2 政策としての環境教育ー京都議定書発効後における環境教育ー：○清水耕平・中村修(長崎大学大学院生産科学研究科)

3C3 ESDにおける環境教育の位置と役割ー環境教育研究の一過程としてー：小栗有子(鹿児島大学)

総合討論

3C4 ESDの地域展開における中間支援組織の重要性：新田和宏(近畿大学)

3C5 地域の素材を活かした環境教育プログラムの効果分析ーあぜ道とせせらぎプロジェクトに

着目してー：○城後豊(北海道教育大学札幌校)・山本幹彦(北海道当別エコロジカルコミュニティ代表)・向坊俊(北海道教育大学大学院)

3C6 里山における市民環境活動の展開ー神戸市北区の事例を通じてー：天野雅夫(甲南病院看護専門学校)・あいな里山ビオパーク)

総合討論

D会場

3D1 自然離れはいつ始まったのかー里地に生息する生物の認知度に見られる世代間格差ー：○山田辰美・増田啓子(富士常葉大学環境防災学部・環境防災研究所)

3D2 青森県民の世代別自然意識からみた自然離れの実態と自然体験活動機関の役割について：○沢目教輔(NPO法人東上まちづくりフォーラム)・岡島成行(大妻女子大学)・関智子(青森大学大学院)

3D3 里山体験活動を通した子どもの学びー兵庫県やしろの森公園の学習プログラム・活動記録からの分析ー：○東田恵・増澤康男(兵庫教育大学総合学習系)

総合討論

3D4 しゃくなげ学校における里山環境館プログラムの開発と実践：○井阪尚司・野田晃弘・南黒恵子(滋賀県環境学習支援センター・NPO法人蒲生野考現倶楽部)

3D5 地域とのかかわりを生む環境教育についての実践的考察：○野田(松本)恵(東京農工大学)・辻英之(NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター)

3D6 地域における環境施策と環境教育ーケース：地域の温暖化対策ー：平野宏子(東京都豊島区)

総合討論

5月22日(H) 13:00-15:00

E会場

3E1 指標生物としてのサホコカゲロウについて：本庄眞(奈良県香芝市立真美ヶ丘東小学校)

3E2 南西諸島を主とする西南日本の森林生態系

における土壌動物の特徴：○畠山真由美(兵庫県加古川市立別府西小学校)・今村彰(兵庫県立北はりま養護学校)・牧野憲昭(勝山市立三室小学校)・山口修(兵庫教育大学総合学習系)

3E3 北海道における稀少保護種の状況(2)：○谷口弘一(國學院大学栃木短期大学)・竹林祐子(三井造船北海道支社)

総合討論

3E4 ハマグリの生息と干潟の特性：佐藤邦彦・岩崎誠二・加藤進(三重県科学技術振興センター)・○高橋正昭(四日市大学)

3E5 琉球大学サンゴ礁生物研究会Reefが目指すもの：伊勢戸徹(京都大学総合博物館)・藤田喜久(琉球大学大学教育センター)

3E6 生物分類の思考が自然に身につく「昆虫検索データベース」の構築－目(Order)レベルまでの検索システムの開発－：○溝田浩二(宮城教育大学附属環境教育実践研究センター)・堀米千春(尚絅学院女子中学校・高等学校)・榎原涉(宮城県柴田町立船岡小学校)

総合討論

ポスター発表

5月22日(日) 9:00-15:00

ポスター1 京都市内の保育園・幼稚園・小学校の児童・生徒の自然体験に関するアンケート調査結果について：高桑進(京都女子大学短期大学部)

ポスター2 教育用フィールドの科学的手法を用いた整備－若草幼稚園「すくすくの森」－：○大下宗亮・芳之内祐司((株)西日本科学技術研究所)・岡林通俊・岡林道生(学校法人若草幼稚園)

ポスター3 氏か育ちかスズメの観察研究：○辻正博(名古屋大学)・榎尾一(名古屋栄養専門学校)

ポスター4 すごろくで森との関わりを学ぼう－森と森林バイオマスをもっと身近なものへ－：○倉田麻里・松田直子・山内香苗・高田諭佳子(薪く炭くKYOTO)

ポスター5 地域のヨシを活用した総合的な学習の時間について：田明男(大阪市立姫里小学校)

ポスター6 「びわ湖体験学習プログラム」の開発：遠藤修一・○中井智子・藤田浩介・福田恒人・新田悠(滋賀大学教育学部)

ポスター7 相模川を素材にした体験型環境教育プログラムの開発：○福井智紀・岡本弥彦・村山史世(麻布大学環境保健学部)

ポスター8 高校生を対象としたLCAを題材とするエネルギー・環境教育：岩渕善美・東野達・笠原三紀夫・村上裕子(京都大学大学院エネルギー科学研究科)

ポスター9 環境教育におけるGISの活用Ⅱ：齋藤達也(茨城県立並木高等学校)・丸山哲(国立環境研究所流域圏環境管理研究プロジェクト)

ポスター10 組織培養と環境教育－安全で効果的な環境教育の実践的研究PART V－：○野島正幸(麻布大学附属測野辺高等学校)・齋藤潔(桐蔭横浜大学)

ポスター11 自然の中での生きものの暮らしぶりを活かした庭づくり：○前田敦子・藤原道郎(兵庫県立淡路景観園芸学校)

ポスター12 鶴見大学における喫煙の実態および意識調査Ⅳ：吉野雄俊・○上野篤賢・軽部裕代・阿部道生・齋藤七海・石川朱見・伊藤克子・尾崎正善・後藤仁敏・佐々木史江(鶴見大学環境教育研究会)

ポスター13 「環境」の授業での絵本作成の試み：梅田真樹(東大阪大学こども学部)

ポスター14 環境教育ツールとしての環境麻雀の開発：○後藤忍・渡部俊輔(福島大学理工学群共生システム理工学類)

ポスター15 環境教育を考える「徳の樹」の検討－道德教育と環境教育の接点－：大庭茂美(九州女子短期大学)

ポスター16 大学の学生団体とESD－SUS－EDUワーキンググループ－：○玉井晝大・矢野安樹子・寺園淳子(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

ポスター17 学校教員の大学演習林実習－岩手大学と京都大学での実践報告－：○大國徳子・吉田紀子((株)大伸社)

ポスター18 持続可能な発展のための教育(ESD)

の体系化に向けての考察－環境教育の履歴と変遷に基づくESDの将来像－：護山元気・味埜俊（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

ポスター19 環境プロジェクトのスパイラル・ゴール－大学の継続型演習が構想する東アジア圏の環境教育－：矢内秋生（武蔵野大学人間関係学部）

ポスター20 災害・防災に関する生涯学習カリキュラムの開発－ハザードマップを中心に－：○大西宏治（富山大学）・廣内大助（愛知工業大学）・岡本耕平・富田啓介（名古屋大学）

ポスター21 新しい環境人－3つのコミュニケーションが環境活動を変える－：五輪智子・石川世太（環境協働NGO YouthCaN Japan）

ポスター22 自然保護活動家大浜清氏の軌跡：小林宏子（東京学芸大学大学院）・小川潔（東京学芸大学教育学部）

ポスター23 宮城県環境基本計画策定に対するNPOからの提案活動－環境教育と環境まちづくりをつなぐために－：○枝松芳枝・菅原あつ子（みやぎ環境教育ネットワーク）

ポスター24 環境保全活動・環境教育推進法の成立過程・現状・展望－あなたはどうか考えますか？－：林浩二（千葉県立中央博物館）

ポスター25 持続可能な開発のための教育（ESD）の10年－到達点（これまで）と課題（これから）－阿部治・小栗有子・ステイブンス野口扶弥子・林浩二・降旗信一・二ノ宮リムさち（NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J））

関連小集会

5月22日（日） 15：00－17：00

関連小集会1 幼児期の環境教育－日本の自然・伝統文化・農業の中で育つ心と体－企画・司会：田尻由美子（精華女子短期大学幼児保育学科）

関連小集会2 子どもの環境活動から学ぶワークショップ－「つながり」「協働」の視点から－：企画・司会：戸田耿介（NPO法人こども環境活動支援協会）・小澤紀美子（東京学芸大学）

関連小集会3 食と農をめぐる環境教育：企画・司会：阿部道彦（農山漁村文化協会）・鈴木善次・原田智代・本庄眞（香芝市立真美ヶ丘東小学校）

関連小集会4 環境教育と学校ビオトープⅧ－京都におけるNPOの取り組み紹介－：企画・司会：赤尾整志（グローバル環境文化研究所）

関連小集会5 リナックス型環境共育プログラムの紹介「外来種問題から自然保護を考えよう」：企画・司会：松本朱実・木内功・井上有一・金下玲子・関井弘之・藤本雅巳（リナックス型環境共育開発プロジェクト）

関連小集会6 エネルギー教育をめぐる－エネルギー教育の現状と課題－：企画・司会：岡本正志・山下宏文（京都教育大学）・平岡信之（亀岡市立青野小学校）・橋場隆（INSS）

関連小集会7 社会教育施設と学校の連携は進んだか？Part 2－施設～学校～市民 それぞれが提供できるものは何？－：企画・司会：高橋宏之（千葉市動物公園）・佐渡友陽一（静岡市立日本平動物園）

関連小集会8 学校版環境マネジメントシステム（EMS）を構築しよう：企画・司会：石川聡子（大阪教育大学教育学部）・中村修・清水耕平（長崎大学大学院生産科学研究科）

関連小集会9 私がこだわる大学での環境教育とESD戦略：企画・司会：笹谷康之（立命館大学）・高山進（三重大学）・比屋根哲（岩手大学）

関連小集会10 国公立大学における環境教育のフロンティア2－法人化・大学改革の潮流の下で－：企画・司会：内山弘美（東京大学空間情報科学研究センター）

関連小集会11 ESDの到達点（これまで）と課題（これから）：企画・司会：阿部治・林浩二・ステイブンス野口扶弥子・二ノ宮リムさち（ESD-J）

関連小集会12 環境教育とESDから「ストックホルム会議以後の30年を検証する」：企画・司会：新田和宏（ESD関西）・福島古（教育10年ネット）

関連小集会13 第2回環境教育国際会議の企画を考える会：企画・司会：小堀洋美（国際会議実

行委員長)

関連小集会14 若手研究者の集い：企画・司会：
小栗有子(鹿児島大学)

関連小集会15 教員養成・研修と自然体験学習：
企画・司会：降旗信一((社)日本ネイチャーゲー
ム協会)・能條歩(北海道教育大学岩見沢校)

以上